

経済指標ウォッチャー

# ユーロ圏PMIは4カ月連続で50を下回る

## 景況感は製造業とサービス業で明暗が分かれる

### IHSマークイットPMI（購買担当者景況感指数）とは？

製造業やサービス業などの購買担当者を対象に新規受注や生産高、価格、雇用等の景況感について行ったアンケート調査結果を指数化したもの。その国(地域)で直接調査した結果を基に算出されるため、景気の実態が正確に反映されやすい。発表時期がGDP(国内総生産)など他のマクロ経済指標より早く、景気先行指数として注目度が高い。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

### ユーロ圏総合PMIは4カ月連続で50を下回る

IHSマークイットが2月19日に発表した2021年2月のユーロ圏総合PMI（速報値）は48.1と前月の47.8から0.3ポイント改善しました（図表1）。しかし、4カ月連続で好不況の判断の節目となる50を下回っています。ユーロ圏各国において新型コロナウイルスの感染拡大に伴う規制措置が継続していることで景況感は低迷しているようです。

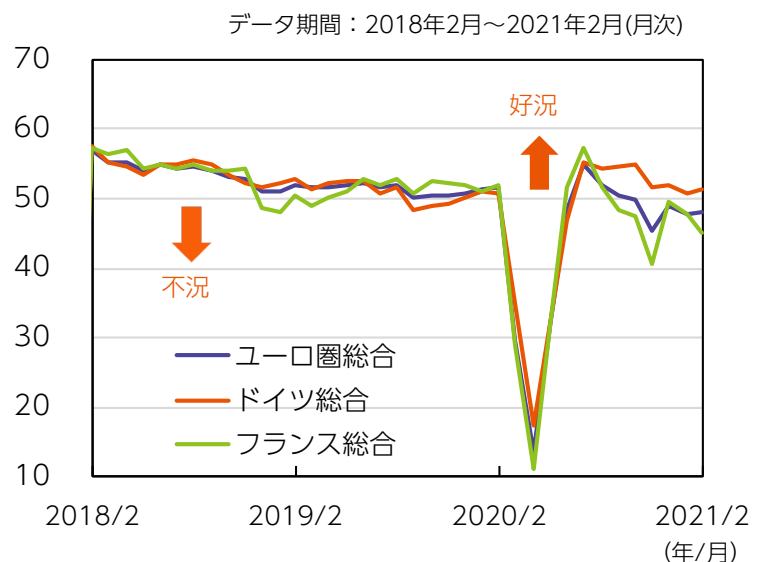
### 製造業とサービス業で景況感の方向性に違い

2021年2月のサービス業PMIは44.7と前月の45.4から0.7ポイント悪化し、6カ月連続で50を下回りました（図表2）。一方で製造業PMIは57.7と前月の54.8から2.9ポイント改善し、8カ月連続で50を上回っています。

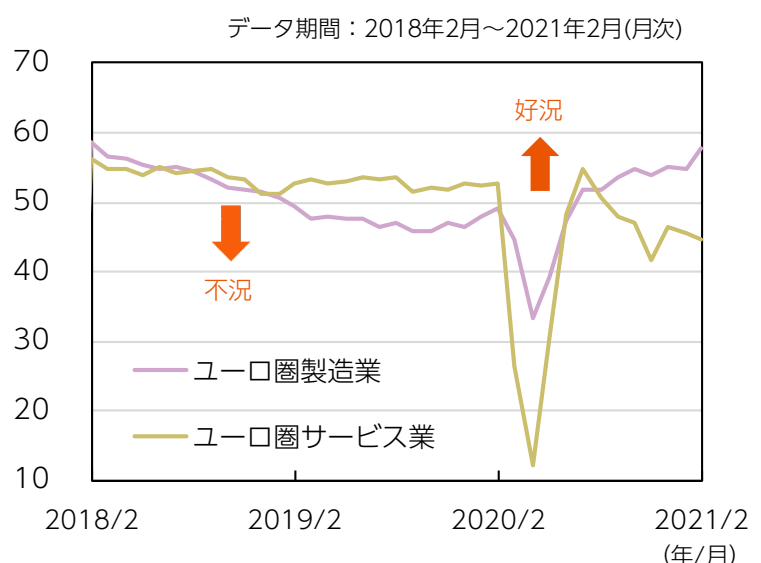
製造業の景況感は、中国向け輸出の回復などを受けた生産や新規受注に関する構成指数の上昇が寄与し、改善傾向となっています。サービス業の景況感は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う夜間外出禁止などの規制措置により個人消費が鈍化したことなどから悪化がみられます。

欧州では製薬会社のワクチン生産の遅れからワクチン接種が予定通りに進んでおらず、外出制限などの規制措置は長期化するとみられます。ユーロ圏の景況感は、好調な製造業と低調なサービス業という二極化した状況が、当面は続くと思定します。

図表1：総合PMIは4カ月連続で50を下回る



図表2：製造業とサービス業で景況感に明暗



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506  
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）  
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>